

の。きいぞひと

成人向
18禁
FOR ADULT ONLY



ひきまきり。の。ひきまきり。
俺の妹がみんなに可愛くあげがたい
Fan Book

まえがき

いきなり関係ない話でアレなんですけど、先日関東遠征から帰宅したらウチの部屋のフィギュア群が親の手によって整然と並べ直されてたんですね。しかも自分で並べるよりセンスいいの。勝手に部屋を掃除されたことより何より、そのことに戦慄しました。これで俺の夜のお話相手のばんつたちが洗濯されてようものなら窓を突き破って近所の河川まで疾走していたかもしれません。恐ろしい世の中になったものです。

要約すると、今回は「俺妹」本なわけですが、原作をGWに一気に読みして二回読み返し、その勢いのまま本を描いていた次第です。

自分にしては珍しいジャンルなのですけども、実はここ数年ライトノベル離れをしていて、にも拘わらずまさかこんな短期間でハマって同人誌まで作ってしまうことになるとは数ヶ月前の自分からは想像も出来ませんでした。それだけマジ面白かった作品でした。

で、原作を読んでいて桐乃はエロゲをやっている、エロシーンに対して特に何も思わない的な描写があり、こういうタイプの子をその気にさせるにはどうしたらいいんだろうと考えた結果、行き着いたのが「エ」の缶詰でした。

最近でこそばんつがついてきたりしますが、当時はかなり衝撃的な特典が同梱されていて、思わず背筋が凍ったのを覚えています。

好きなヒロインが剣道が好きだったら自分も竹刀を買って素振りしてしまうような、多分違うんでしょうけど自分的には桐乃はそういう感じの第一印象を受けたので、「玩具を与えられて、子供が最初に取り行動は」的なテイストで攻めてみました。

桐乃が取った行動は、本文の方でご確認下さい。18禁本ですし、そんなもん容易に想像できると思いますけど。

今回はあとがきも兼ねているので、冒頭ではありますが一応、締めの挨拶をば。

また来週。

7月某日 RYO



んい

昼間っから
こんなこと……

なんで
あたし……

ハイハイ

くちい

エロゲのエロシーンを見ても、
あくまでもそれはヒロインの
恋愛過程のひとつであって

「物語」としての認識の範疇を
超えるものではなく、
自身に投影することは
無いのだと

ハイハイ

……



くちい

ハイハイ

あい

……と、思っていた時期が
アタシにもありました。

話を巻き戻して——
最近のエロゲの特典は
卑怯だと思っ。

これはっ……

っっ……



公式情報で
シークレット特典が
あるって話だったけど

ちゅちゅ……

また随分と直球なアイテムで
攻めてきたもんねえ……







思ってたより
すごい……わけでは
ない、かな……？

……かも？



やっぱり天使ね！
主にあたしの！

エロゲならではの
過剰演出なんだろうけど
こんなのでおもらしまで
しちゃうしおりちゃん
って……



ナメてはいられない
感じになってきた……

でもちょっと……

……かも？



あたしがしたくて
してるわけじゃ
ないんだからっ…

あぁっ…
あぁっ…

くちくち

…だから

大丈夫…っ

ていうか特典に
こんなの付けてくる
メーカーが悪いんだし！

っ…

あぁっ…

あぁっ…

あぁっ…

そもそも本来、誰に使えってのよ
彼女相手だとしても
エロゲの特典じゃ相手に失礼でしょ
常識的に考えて……！



……確か本編では
しおりちゃんがひとりで
してるところに主人公が
帰ってきて……

は……



はー……

帰ってきて、そのまま
二人で続きを……
「誰」と？
「誰」と？



「おにいちゃん」とっ



ちやうど

かきま

って、「アンタ」は
「おにいちゃん」
違いでしょ！
なに勝手にあたしの妄想
の中に出て来てんのよ！



主人公「ずっと一人にして、ごめんな」

桐乃





違う――

やだっ

待っ...

たね...
ん...
な...

や...
あ...
っ

入...
れ...
な

め...
ち...
っ

待たねえよ――
ずっと一緒だって、
言っただろ！

あ...あ...あ...
ひ...
ま...
ん...
ご...
う...

あたしが聞きたいのは
そんな言葉
じゃなくて――



かあああ

んなっ……!

ぐろぐろ

ん

うげっ……!
桐乃っ!

居るなら居るって
言いなさいよ
このクズがあつ!

い、言えるわけねえだろ!
あんな盛大に大声で
おっ始めやがってよ!

は!?

何言っつかわかんないし!
マジキモいんですけど!

ぐえっ……!

待てっ……!
何もなかったんならっ……
首っ……絞めんなっ……!

あんたのろくでもない
幻聴イヤーをこの世から消して
あげようとしてんのよ!
いいからさっさと

死ぬ!!

おわり。

ひとりできりの。

2010年8月15日 発行

印刷会社 PICO様

発行：没後

著者：RYO

連絡先

[http://www.synapse.ne.jp/botugo/
mayaul@vesta.dti.ne.jp](http://www.synapse.ne.jp/botugo/mayaul@vesta.dti.ne.jp)

本書の一部あるいは全部について
発行者の許諾を得ずに
無断で複製・複写することを
固く禁じます

乱丁・落丁本はお手数ですが、
上記の連絡先まで
ご連絡下さい

